

第3学年 道徳学習指導案

日 時 平成16年 11月 9日(火) 授業1
学 級 3年2組 男15名 女12名 計27名
授業者 高 橋 恵 理

総合単元名 友だちと仲良く助け合って

総合単元のねらい

健康的な仲間集団を育成するために、友達どうし互いに思いやり、信頼し、助け合おうとする態度を養う。

総合単元的な道徳学習の構想について

この時期、子どもたちは学校生活にも慣れ、行動範囲が広がり、活発に活動することが多くなっている。ギャングエイジと呼ばれ、少人数の集団行動が見られ、他の集団に対して対立的・排他的な態度を示すようになり、仲間に入れない児童を仲間はずれにしようとする児童が見受けられることがある。また、わがままな主張同士がぶつかりあい、口論やけんかに発展することもめずらしくない。健康的な仲間集団を積極的に育成しなければならないが、そのためにも、友だちと互いによく理解し、信頼し、助け合えるような指導が必要であると考え、総合単元として「友だちと仲良く助け合って」を設定した。

本単元では、「出会う」段階で、オリエンテーション「思いやりの心をさがそう」や道徳の時間「やさしい思いやり」で、相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育て、「深める」につなげていきたい。「深める」の段階では、友だちどうし互いに理解し、信頼し助け合おうとする態度を育てていきたい。

子どもたちの信頼友情に関わってその実態について知るために、生活実態調査を行った。結果は、次の通りである。

「信頼友情」に関する生活実態調査 (調査人数 3年 54名)

1 仲良しの友だちはいますか。

・はい 54人 ・いいえ 0人

2 あなたにとって友だちとはどんな人ですか。

・いっしょにいて(遊んで)楽しい人 40人 ・なんでも話せる人 9人
・仲のいい人、気の合う人 23人 ・困ったときに助けてくれる人 13人
・大切な人 9人 ・相談にのってくれる人 21人

3 友だちがいてよかったと思うときは、どんなときですか。

・相談にのってもらったとき 6人 ・遊んでいるとき 37人
・はげまされたとき、なぐさめられたとき 12人 ・助けてもらったとき 8人
・心配されたとき 2人 ・協力してもらったとき 25人

4 本当の友だちとはどんな友だちだと思いますか。

・仲良く遊んでくれる友達 18人 ・協力したり、助け合ったりする友達 11人
・励ましてくれたり、相談にのってくれる友達 8人

5 親切にしたことがありますか。それは誰にですか。

・ある 35人 クラスの友達 3年生の友達 他学年の友達
・ない 19人

6 なぜ、親切にするのですか。

・困っているとき、助けるのはふつうのことだから 11人
・友達は大切だから 9人
・「ありがとう。」と言われるとうれしくなるから 5人

生活実態調査から、自分には仲良しの友だちがいると全員が感じていることがわかった。いっしょにいて(遊んで)楽しい人、仲がよく気が合う人を友達という子が多かったが、協力してもらったり、はげまされたり、なぐさめてもらったりしたときに、友だちがいてよかったと感じている子も多い。また、そういう友達を「本当の友達」というのではないかと考えている子も多い。友達を大切にしよう、親切にしようと思っている子もいるが、親切にした経験のない子が多く、意識が十分に育っていないように思われる。また、誰にでも親切にしよう、という意識もまだ十分に育っていないように感じる。

総合単元の構想

段階	時期	意識の流れ	教科等	特別活動	日常活動	家庭・地域
出 会 う	10月 4週	<ul style="list-style-type: none"> ・友達がいるから、楽しくらせるな。 ・もっと仲良くなりたいな。 ・一人でいる友だちを遊びに誘ってあげようかな。 ・声をかけ合って練習したいな。 	オリエンテーション ・心のノートP42・43「ひとりじゃないからがんばれる」友だちが自分にとって心の支えになっていることに気づかせ			
	11月 2週	<ul style="list-style-type: none"> ・だれに対しても、進んで親切にすることが大切だね。 	体育「マラソン」 ・お互い励まし合って練習させる。	心のノート P38・39 ・自分の心の中にある思いやりの心に気付かせる。	マラソン大会の練習 ・お互い声をかけ合って練習させる。	
深 め る	11月 3週	<ul style="list-style-type: none"> ・自分もたくさん親切にしてあげることができたよ。 ・仲よくりんごを収穫しよう。 ・収穫が少なく、悲しんでいる友達にりんごを分けてあげよう。 ・親切にすると、うれしくなるな。周りの人も喜んでくれているみたい。 	総合的な学習の時間「りんごを育てよう」 収穫しよう ・友達と協力して、りんごを収穫させる。		心のノート P45 ・友だちと協力することの大切さに気付かせる。	帰りの会 ・友達とけんかしたときの気持ちを想起させる。
	4週	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに理解し合うことが大切だね。 ・信頼し助け合おうとすることも大切だね。 ・協力することは大切なんだな。 	道徳の時間 主題名 友達のよさ 2-(3)信頼友情 資料名 たまちゃん、大すき(出典：東書) ねらい 友達同士互いに理解し、信頼し助け合おうとする態度を養う。			
生 か す	12月 1週	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が楽しい思い出になるように、しっかり計画を立てよう。 ・すてきな収穫祭を成功させるぞ 	収穫祭をしよう ・友だちと助け合いながら、りんごの収穫祭を成功させる。	学級活動 ・りんごの収穫祭の計画を皆で協力し合いながら立てさせる。		

友だちと互いに理解し、信頼し、助け合える子ども

本時の指導

- 1 主題名 やさしい思いやり 2 - (2) 思いやり、親切
- 2 資料名 「金の小鳥」 (出典:「明るい心で」東京書籍)
- 3 ねらい
相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。
- 4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

指導内容中学年の2 - (2) は、「相手のことを思いやり、親切にする。」と示されている。これは、温かい心とともに、相手に対する思いやりの心を育てようとしたり、相手のことを考えた親切をしようとしたりする内容項目である。

相手のことを思いやり心から親切にする行為は、当事者だけでなく周囲の人々までも温かい気持ちにさせる。

この時期の児童は徐々に自己中心性から抜け出して、相手の気持ちが理解できるようになる時期である。この時期に、「相手を思いやり、進んで親切にする」という考え方のよさに気付かせることで、温かい心で思いやりをもって人と接することの大切さをつかませることが重要であると考える。そこで、お互いに相手の立場に立って、だれに対しても思いやりの心をもって親切にする実践的態度を身に付けさせたい。

そこで、本時では、だれに対しても思いやりの気持ちをもって親切にするために、「出会う」段階の「道徳の時間」として、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について

子どもたちは、休み時間に友達と仲よく遊んだり、学習や係活動で協力して活動したりする姿が見られる。忘れ物をした友達に対し、快く学用品を貸す姿も見られる。その反面、友達の悪口を言ったり、仲間はずれにしたりする面も見られる。「 さんには、これくらい言っても大丈夫。」という考え方もあるようだ。また、自分のいらいらした気分を、全く関係のない友達にぶつけて発散しているように見えるときもある。このような児童に対し、だれに対しても思いやりの気持ちをもち、心から親切にしようとする実践的態度を養っていききたい。

(3) 資料について

本資料は、北風の子を主人公にした童話である。旅の途中で休んでいる北風の子が、自分を呼ぶ声を聞く。それはイチヨウの木の声だった。イチヨウの木は、捨てられた子猫を寒さから守るため、自分の葉を全部落として子猫の上にかけてほしいと、北風の子に頼む。北風の子はためらうが、イチヨウの木に励まされて葉をふき落とす。次の日の朝、子猫が女の子とおばあさんに拾われるのを見届けた北風の子は、金の小鳥たち(イチヨウの葉)と一緒に飛び立つという内容である。

「なんで自分が・・・」、「やさしくしても、いいことなんて全然ない。」、「自分も嫌な思いをしたのだから。」等と共感できる場面がある。だれに対しても思いやりの気持ちを持って接することの大切さを知る適切な資料だと思われる。

5 「心に響く道徳の時間」における指導法の工夫(仮説・・・手立て2 とのかかわり)

ねらいに迫るために、次のような手立てを考えた。

表現活動を取り入れた展開の工夫

- ・イチヨウの木に葉を落としてほしいと頼まれた北風の子の役割演技をし、イチヨウの木の思いやりや、そのやさしさと熱意に動かされる北風の子に共感させたい。

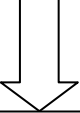
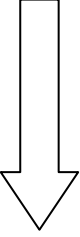
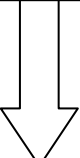
書く活動を取り入れた展開の工夫

- ・展開後段で、今までの自分は、相手のことを思って何かしたことがあるかを振り返る。書く活動を通し、自分をしっかり見つめさせたい。

6 資料分析

場面	登場人物の心の動き	子どもの意識	発問の意図・発問
<p>小さい北風の子が火の見やぐらのてっぺんで休んでいる。生まれて初めての旅だったが、人間や動物たちに喜ばれず、元気がなくなる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの役に立ちたいな。 ・「来てくれてありがとう。」と言われるようなことがしたいな。 ・りっぱな風になりたいな。 ・みんなに喜ばれたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなひどいな。 ・いじわるされているみたいだな。 ・いじわるはやめて。 ・北風の子にだって、いいところがあるはずだよ。 ・みんなの役に立ちたいと思っているんだよ。 	<p>○窓や戸を閉められたり、慌てて巢に戻られたりしたとき、北風の子は、どんな気持ちだったのでしょうか。</p>
<p>自分を呼ぶ声を聞く。それはイチョウの木だった。イチョウの木は、捨てられた子ネコを寒さから守るため、自分の葉を全部落として子ネコの上にかけてほしいと、北風の子に頼む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イチョウさんが寒くなるんだよ。 ・ぼくに頼むことってそんなことなの。 ・信じられない。 ・イチョウさんはなんて優しいんだろう。 ・イチョウさんは自分のことより、ネコのことを考えていて、すごいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やっとよんでもらえたね。 ・イチョウさんはすごいな。 ・イチョウさんはどうなるのかな。 ・イチョウさんがかわいそうだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・葉を落とすことを頼まれるなんて、信じられない。 ○イチョウの木に、葉を「全部かけてほしい。」と頼まれたとき、北風の子はイチョウの木のことをどう思ったのでしょうか。
<p>北風の子はためらうが、イチョウの木に励まされて葉を吹き落としていく。やがて夜が明ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ネコを助けたいイチョウさんに協力しよう。 ・ぼくもイチョウさんと同じように子ネコを助けてあげよう。 ・イチョウさんは寒いだろうな。 ・子ネコさん、凍え死なないでね。 ・なんとしても子猫を助けたいんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イチョウさんは寒くないのかな。 ・イチョウさんの願いを聞いてあげて。 ・子ネコを助けてあげて。 ・自分のことよりも、子ネコのことを考えているイチョウさんてすごいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・葉を落としてよいものか、まだ迷いながらも、イチョウの木のやさしさと熱意に励まされたとき、北風の子は、イチョウの木のことをどう思ったのでしょうか。
<p>次の日の朝、子ネコが女の子とおばあさんに拾われるのを見届けた北風の子は、金の小鳥たち(イチョウの葉)と、一緒に飛び立つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ネコが助かってよかった。 ・ぼくのしたことが初めて喜ばれた。 ・うれしい。 ・イチョウさん、ありがとう。春までゆっくり眠ってね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ネコの命が助かってよかった。 ・風の子も親切で思いやりにあふれていたよ。 ・南に行っても、親切で思いやりのある風の子でいてね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のしたことが親切となり、初めて役立った。 ○北風の子は、どんな気持ちで飛び立ったのでしょうか。

7 展開

段階	学習の流れ	予想される児童の反応	支援の手立てと評価の観点
導入 5分	1 困っているとき、やさしくしてもらった経験を発表する。	・マラソン大会の練習で走るのが苦しいとき、いっしょに走ってくれた。嬉しかった。	・やさしくされたときの気持ちにも、少し触れるようにする。
展開 前 段	2 窓や戸を閉められたり、慌てて巣に戻られたりしとき、北風の子は、どんな気持ちだったでしょうか。  イチョウの木に、「葉を全部かけてほしい。」と頼まれたとき、北風の子はイチョウの木のことをどう思ったでしょうか。  「さあ、もっと、もっと・・・。」と、イチョウの木に励まされたとき、北風の子は、イチョウの木のことをどう思ったでしょうか。  北風の子は、どんな気持ちで飛び始めたのでしょうか。	・悲しいな。 ・イチョウさんが寒くなるんだよ。 ・そんなことを頼むなんて信じられない。 ・そんなこと、頼まないでほしい。 ・すごくやさしいだね。 ・自分のことより、子ネコのことを考え ・本当に葉を落としていいのかな。 ・イチョウさんは寒いだろうな。	・童話の世界に浸らせる。 ・北風の子の悲しい気持ちをつかせる。 ・北風の子の役割演技を通して、北風が葉を落とすことを頼まれるなんて信じられないということ、自分のことよりも子ネコのことを気遣うイチョウの木の思いやりをとらえさせ、どうしたらいいのかわからない北風の子の気持ちを引き出したい。 ・葉を落としてよいものか、まだ迷いながらも、イチョウの木のやさしさと熱意に動かされる北風の子の心に共感させる。
25分		・イチョウさんに協力しよう。 ・子ネコを死なせないからね。 ・子ネコが助かってよかった。 ・初めて喜ばれて、うれしい。 ・イチョウさんの言う通りだったよ。 ・イチョウさん、ありがとう。春までゆっくり眠ってね。	・自分のしたことが親切となり、初めて役に立った喜びをつかませる。 (評)北風の子が、初めて役に立った喜びをつかむことができたか。
展開 後 段 10分	3 相手のことを思っていたことを書きましょう。また、そのときどんな気持ちがありましたか。	・マラソン大会の練習で、苦しそうに走っている友達に応援した。走り終わったとき、自分も嬉しくなった。 ・一人でぼんやりしている友達を遊びに誘った。嬉しそうな顔を見て、自分も嬉しくなった。	・自分の生活を振り返り、親切にできたことと、そのときの気持ちを発表させる。 ・些細なことでも認め、誉める。 (評)本時の価値を今までの自分と照らし合わせて、自分を見つめることができたか。
終末 5分	4 教師の体験談を聞く。		・心から相手のことを思いやるすばらしさについて語る。

9 板書計画

金の小鳥

まどや戸をしめる人間たち
あわててすにもどる動物たち

「葉っぱを全部かけてほしい。」

場面絵

- ・ 悲しいな。
- ・ ひどいよ。
- ・ どうしてみんないじわるするの。

場面絵

- ・ そんなことできないよ。
- ・ そんなことたのまないでよ。
- ・ 信じられない。

「さあ、もつと、もつと……。」

場面絵

- ・ 本当に葉を落としてもいいのかな。
- ・ イチヨウさんは寒いだろうな。
- ・ なんとしても子ネコを助けたいんだな。
- ・ イチヨウさんにきょう力しよう。
- ・ 子ネコをこごえ死なせないからね。

金の小鳥たちといっしょに、南に向かって元気よくとび始める。

場面絵

- ・ 子ネコが助かってよかった。
- ・ イチヨウさんも喜んでいいるだろうな。
- ・ イチヨウさん、ありがとう。
- ・ ぼくのしたことがはじめて喜ばれてうれしい。

だれにでも、親切にすることが大切

10 道徳ノート

金の小鳥

三年 組 番 名前

相手のことを思っていたことを、くわしく書きましよう。そのときの気持ちも書きましよう。

ふりかえり）、）、を書きなさい。（

友達や先生の話をしつかり聞くことができましたか。（

自分の考えを発表しようと思いましたか。（

書く活動がんばりましたか。（

（

（

（